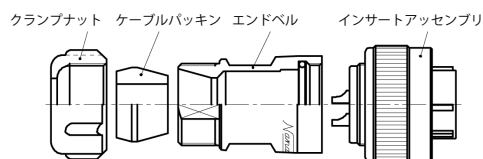


結線作業方法【はんだ】NEW

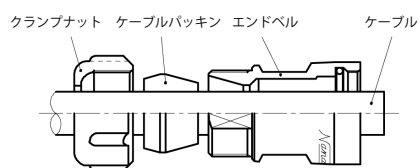
※結線部に強い力が加わるような使い方は避けて下さい。
クランプナットを締め付けた際にケーブルパッキン内径部との密着性を損なわない構造のケーブルを選定して下さい。

1. 構成図の通りコネクタを分解する。



2. 分解した各部品を下図の順でケーブルに通す。

注) 各部品の順番、向きを間違えない様にする。



3. 使用ケーブルのシース及び電線を別紙指定寸法で剥く。

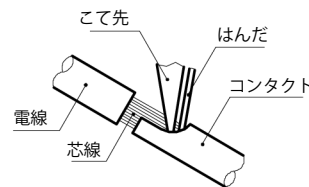
4. 線剥きを施した電線の芯線に予備はんだを施す。

注) ※予備はんだは、電線の被覆部まで行わないこと。
仕上がり状態は、コンタクトの孔径より小さく全体にムラのないこと。
※予備はんだを施したケーブル導体の仕上がり状態がコンタクトの孔径より大きくなる場合は、ケーブル導体がコンタクトに差し込めなくなるので予備はんだは行わないこと。

5. はんだづけを行う。

注) ※コンタクトへの過度の加熱はしないこと。
使用はんだごては下の表を参照。
※はんだづけ時には、はんだごて先をプラスチック部分に接触させないこと。

- ① コンタクトのソルダーポットに芯線を差し込む。
- ② 図の様にはんだごてで加熱しながらはんだを流し込み、コンタクトと芯線の隙間を埋める。



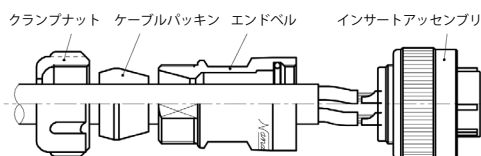
使用はんだごて	電線導体断面積 (mm ²)	ごて先温度 (°C)
30 W	2	350 ~ 370
60 W	3.5	370 ~ 400

ごて先温度は共晶はんだでの参考値

6. 下記の要領でコネクタを組み立てる。

注) ※断線するおそれがあるのでインサートアッセンブリを回転させて締め付けないこと。締め付けのトルク値は下の表を参照。
※パッキン類に汚れが付着すると防水性に影響が出ることがあるので、きれいな状態で作業すること。
※ケーブルパッキンをエンドベルに押し込む際は、ケーブルに傷を付けない様に慎重に行うこと。

- ① インサートアッセンブリを固定し、エンドベルを締め付ける。
- ② エンドベル内にケーブルパッキンを押し込み、エンドベルを固定してクランプナットを締め付ける。
(1分間に1回転以下の速度でねじ込むこと)
- ③ ケーブルを前後左右に動かしてなじませ (下図参照)、再度クランプナットを締め付ける。

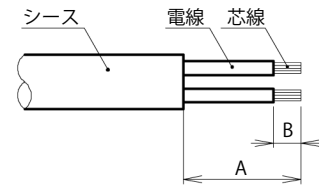


[単位: N・m]

締め付け箇所	シェルサイズ		
	20	24	28
インサートアッセンブリ-エンドベル	1.5 ~ 2.0	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 2.5
エンドベル-クランプナット	1.5 ~ 2.0	1.5 ~ 2.0	1.5 ~ 2.0

結線作業方法【はんだ】 NJW・NRW・NEW・BLW 線剥き寸法

該当するサイズ、コンタクト数、形状で照合のこと。



はんだタイプ NJW・NRW・NEW・BLW 線剥き寸法							
サイズ・コンタクト数 ・形状	端子番号	A (mm)	B (mm)	電線導体断面積 (mm ²)			
163	全極	16	5.2	1.25			
165			3.2	0.5			
168			0.3				
202		18	7	2			
203							
204		-PF	18	5.2	1.25		
205							
207			-PM	18	3.2	0.5	
2010							
2012		-PFK	20	8	3.5		
2014							
242		-PMK	20	8	3.5		
243							
244		-AdM	21	7	2		
245							
2410		-AdF	21	5.2	1.25		
2414							
2416	-Ad(F)M	21	3.2	0.5			
2421							
2421	-Ad(F)F	1 ~ 18		0.3			
		19, 20, 21	5.2	0.75			
2424	全極	22	3.2	0.3			
284			8	3.5			
288			7	2			
2816			-AdFK	5.2	1.25		
2824	-Ad(F)MK	22	3.2	0.5			
2831							
2831	-Ad(F)FK	1 ~ 28		0.3			
		29, 30, 31	5.2	0.75			
2837	全極	35	3.2	0.3			
323							
324							
328							
3210							
3212							

※
※

※は、NEWのみ